

## アソカ講話023

### テーマ「感性的な悩みをしない」

小さな経営論に稲森氏の言葉として次の言葉が載せられている。

「感性的な悩みはいつまでも、ああでもない、こうでもないとクヨクヨ悩むこと。感性的な悩みをしない。感性的な悩みをしている限り、その人の生命は健全に育たない。仕事に全身全霊で打ち込めば感性的な悩みは消える」と。

感性的悩みは、悩んでも解決しないことに悩むことでもある。過去のことと悩む、他者の態度や言葉で悩むことは、悩んでも解決しないことと悩むのと同じである。なぜなら、人生には変えられることと、変えられないことがあり、過去と他人は変えられない。私達が、変えれない過去や他人のことは受け入れるしかないのである。変えれないことに悩むことは感性的悩み・悩みに悩むことであることを知ろう。反対に、自分と未来は変えられる。そして、過去の事実は変えることができなくても過去事実の捉え方は変えることができる。起こった事実はあくまで中立であり何の価値づけもない、価値をつけるのは自分自身の考え方、捉え方であることを知ろう。困難や対人関係をストレスと受け取るか、学びの良い機会と捉えるか、それが感性的悩みから脱却する分岐点となる。悩み悩むのはよそう。